

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 11 月 29 日 (2007.11.29)

【公表番号】特表 2003-511830(P2003-511830A)
 【公表日】平成 15 年 3 月 25 日 (2003.3.25)
 【出願番号】特願 2001-530133(P2001-530133)
 【国際特許分類】

H 0 1 M 4/96 (2006.01)
H 0 1 M 4/76 (2006.01)
H 0 1 M 4/88 (2006.01)
H 0 1 M 4/90 (2006.01)
H 0 1 M 12/06 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M	4/96	M
H 0 1 M	4/96	H
H 0 1 M	4/76	Z
H 0 1 M	4/88	C
H 0 1 M	4/90	X
H 0 1 M	12/06	F

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 9 日 (2007.10.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

バインダーを含んでなるカソード被覆混合物を、バインダーが繊維状になるとともに、カソード被覆混合物を固化させて継ぎ目のないカソードチューブとなるように集電体チューブに塗布する工程を含んでなる、継ぎ目のないカソードチューブを作製する方法。

【請求項 2】

カソード被覆混合物を押出法により塗布する、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

混合物をラム押出法もしくはスクリー押出法により塗布する、請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】

カソード被覆混合物を射出成形法により塗布する、請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】

集電体チューブが網状チューブである、請求項 1 乃至 4 のいずれか記載の方法。

【請求項 6】

網状チューブを射出成型用のキャビティ内に入れる前に網状チューブを微孔性の膜で包む、請求項 5 記載の方法。

【請求項 7】

微孔性の膜が P T F E である、請求項 6 記載の方法。

【請求項 8】

バインダーがポリマーである、請求項 1 乃至 7 のいずれか記載の方法。

【請求項 9】

ポリマーが P T F E である、請求項 8 記載の方法。

【請求項 10】

カソード被覆混合物が炭素物質と触媒とを更に含んでいる、請求項 1 乃至 9 のいずれか記載 の方法。

【請求項 11】

触媒がマンガン化合物である、請求項 10 記載 の方法。

【請求項 12】

マンガン化合物が、 Mn_2O_3 、 Mn_3O_4 及び MnO_2 からなる群から選ばれるものである、請求項 11 記載 の方法。

【請求項 13】

カソード被覆混合物がバインダーを約 15 ~ 45 重量% 含んでなるものである、請求項 1 乃至 12 のいずれか記載 の方法。

【請求項 14】

カソード被覆混合物が溶剤を更に含んでいる、請求項 1 乃至 13 のいずれか記載 の方法。

【請求項 15】

溶剤がパラフィンオイルである、請求項 14 記載 の方法。

【請求項 16】

パラフィンオイルがアイソパーである、請求項 15 記載 の方法。

【請求項 17】

カソードチューブを円筒形の電池に挿入する工程を更に含む、請求項 1 乃至 16 のいずれか記載 の方法。

【請求項 18】

電池が金属空気電池である、請求項 17 記載 の方法。

【請求項 19】

金属空気電池が空気 - 亜鉛電池である、請求項 18 記載 の方法。